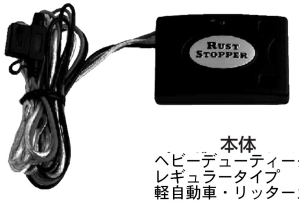
自動車用電子サビ防止装置

ラストストッパー(ボディーガードシリーズ) MODEL 46-4200/46-4201/46-4202

取扱説明書

取付けおよびご使用の前にこの説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取付け後もこの説明書は大切に保管することをお勧めいたします。製品を取り付ける際は工具などで怪我をしないよう充分注意して下さい。

各部の名称及び付属品



本体
ベビーデューティータイプ
レギュラータイプ
軽自動車・リッターカータイプ

車輌取付用マジックテープ

アルコールクリーナー

配線

タイラップ

取付作業開始前に必ずお読み下さい

安全のために

ラストストッパーは安全に十分配慮した設計/制作を行っております。しかし、電気製品は取り扱い方を間違えたまま使用すると、火災やショート、感電などにより、思わぬ事故を招くことがあります。また、取付の際も注意を怠ると、部品や使用する工具などにより思わぬ怪我をすることがあります。事故を未然に防ぐため、次のことを必ずお守りください。

- ●取付作業を始める前に必ずバッテリーのマイナスターミナルをはずし、車両の電流を切断してから行って下さい。通電したまま行うと、作業中の配線接触等によりショート、感電事故を起こすことがあります。
- ●配線の切断/接続時には特に先端の取扱いに十分ご注意ください、むき出しの銅線の先端が指先等に刺さり思わぬ怪我をすることがあります。
- ●取付後、本体上面の作動表示ランプが正常に点灯しない場合は、再度、配線状態を確認し誤配線があれば正しくやり直してください。配線が正常にもかかわらず点灯しない場合は、通電をやめて弊社までお問い合わせください。
- ●本製品は自動車の12Vバッテリー用に作られています。

万一、異常が起きたら

本体が破損したり、煙や焦げた匂いがしたら、直ちに通電をやめて弊社までご相談ください。

取り付け方法

●ラストストッパー(3ワイヤーシステム:Model 46-4200･Model 46-4202)

1. エンジンを切ってラストストッパー本体の取付位置を確認します。仮位置としてファイヤーウォールやバッテリーカバー、フロントフェンダー内が適しています。マニホールド近辺など高熱になる場所は避けて下さい。
2. 速くて確実な取り付けには、付属のマジックテープを使用することをおすすめします。このパーツは汎用として、ほとんどの車にご使用になれます。付属のアルコールクリーナーを使って、あらかじめ取り付ける面をきれいに拭いてください。取り付け面は通常20℃前後の適温にしておくと粘着性が上がります。
3. 赤色線の電源ワイヤーを付属のO端子を使用してバッテリーターミナルのプラスに接続します。この時、ワイヤーが高温部に接するとショート等の原因となりますので注意してください。
4. 次に黒色のワイヤーをO端子を使用してバッテリーターミナルのマイナスに接続してください。
5. 透明のパルスカレントディスチャージワイヤーは出力ワイヤーで、車のアースとつながった鉄板を通して信号や電気を送ります。必ず車輌のボディー本体に接続してください。
   黒色線ワイヤーと同じバッテリーのマイナスターミナルには絶対接続しないでください。
   透明線のケーブルはバッテリーから少なくとも200cm離れたところに留めてください。車体にあるボルトを利用することをおすすめします。ただし塗装されたボルトやゴム製グロメットや樹脂製のクリップは導電性がないので使用しないでください。
   透明のワイヤーは絶対に切断しないでお使いください。
6. 付属のタイラップを使用してすべてのワイヤーを固定してください。熱や水気から離して配線して下さい。
7. 電源がオンになっていることをLEDランプで確認してください。LEDが点灯していれば、本体は正常に作動しています。
   万が一、LEDが点灯しない場合は、テスターでバッテリーの電圧が12.1V以上かをチェックし、バッテリーにきちんと接続されているか確認してください。電圧が12.1V以上でLEDが点灯しない場合は、後にある“再取付の手順”に従ってください。
   通常、バッテリー電圧が12.1V以下になるとバッテリー上がりを防ぐための保護機能(バッテリースマート回路)が働き、一時的にラストストッパーの電源を遮断するように設計されています。

●ラストストッパー(4ワイヤーシステム:Model 46-4201)

1. 上記手順の1～4を行ってください。
2. 透明のパルスカレントディスチャージワイヤーは出力ワイヤーで、車のアースとつながった鉄板を通して信号や電気を送ります。必ず車輌のボディー本体に接続してください。
   黒色線ワイヤーと同じバッテリーのマイナスターミナルには絶対接続しないでください。
   透明線のケーブルはバッテリーから少なくとも200cm離れたところに留めてください。車体にあるボルトを利用することをおすすめします。ただし塗装されたボルトやゴム製グロメットや樹脂製のクリップは導電性がないので使用しないでください。
   透明のワイヤーは絶対に切断しないでお使いください。
3. 付属のタイラップを使用してすべてのワイヤーを固定してください。熱や水気から離して配線して下さい。
4. 電源がオンになっていることをLEDランプで確認してください。LEDが点灯していれば、本体は正常に動いています。
   万が一、LEDが点灯しない場合は、テスターでバッテリーの電圧が12.1V以上かをチェックし、バッテリーにきちんと接続されているか確認してください。電圧が12.1V以上でLEDが点灯しない場合は、後にある“再取付の手順”に従ってください。
   通常、バッテリー電圧が12.1V以下になるとバッテリー上がりを防ぐための保護機能(バッテリースマート回路)が働き、一時的にラストストッパーの電源を遮断するように設計されています。
5. 2本の透明線、パルスカレントディスチャージワイヤーはなるべく離してお取付け下さい。(車体の両サイドがベストです)

再取付の手順

●ラストストッパー(3ワイヤーシステム)

1. バッテリーが完全に充電されていることを確認します。
2. 赤色のワイヤー(+)と黒色のワイヤー(−)がバッテリーターミナルに直接接続されていることを確認します。
3. ラストストッパー本体のLEDのランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、プラスとマイナスの接続やワイヤーが正確に本体に接続されているかを再確認してください。
4. 透明のワイヤーが車の金属部分に接続されていることを確認してください。車輌側の塗装によってネジやボルトで固定しても通電されない場合があります。そのような場所に接続するとラストストッパーは正常に作動しませんので注意してください。

●ラストストッパー(4ワイヤーシステム)

1. 上記の設置法方の1～4を行います。その際、2本の透明ワイヤーの接続をそれぞれ別々に離してください。
2. 短い透明のワイヤーは接続する前にバッテリーからなるべく遠い場所に配線してください。
3. 長い透明ワイヤーはシャーシに沿ってなるべく後ろに(車内が望ましい)配線してください。

※ラストストッパーは使用環境(ボディーの厚さ、焼き付け塗装の具合、鉄板の劣化状態、洗車、ワックスの頻度等や駐車場の屋内外、日当たり、潮風等)によりサビ防止の効果は異なります。

スペック

■メインユニット

サイズ	：59 x 90 x 23mm	耐熱温度範囲	：-20℃～+60℃	消費電流	：3～12mA
重量	：150g	動作電圧	：12.1～16.0V	※スタンバイ時の消費電力は時計並みです	

■接続線の長さ

赤黒電源線 ：100cm　　スケルトンワイヤー(アノード) ：210cm、314cm

ご注意

- ●急ブレーキ等の振動、揺れで本体が飛ばないようしっかりと車に固定してください。
- ●配線は手や足が引っ掛からないような位置に行ってください。
- ●本体及び配線は防水タイプですが水に濡れないよう充分注意してください。水気は電気回路を傷める原因になるだけでなく感電する恐れもあります。
- ●高温や直射日光の当たるところに置かないようにしてください。各電気パーツの寿命を縮めるだけでなく、本体樹脂が歪んだり、溶けたりすることもあります。(耐熱−20℃～+60℃)
- ●製品を落とさないように気を付けてください。落下によって製品が正常に操作できなくなることがあります。また製品の寿命を縮めることにもなります。
- ●製品を本来の目的以外に改造された場合や、外国で使用した場合の責任は一切負いません。
- ●本製品は原則として、開封、使用後の返品には応じられません。また、取付の際、万が一、製品及び車両の破損、事故作業中のケガ等が発生しても一切責任を負いません。取付けの際は十分注意してください。

JAN2013

本製品は生産後及び出荷前にダブル動作チェックをし、万全の状態でお客様にお届けしています。取付に関しましてもこの説明書をよくお読みになって破損や事故のないよう十分注意していただくようお願い申し上げます。